

「労働関係図書 優秀賞」 受賞図書

〈平成21年～令和元年〉

(※同年度内の著者名は五十音順)

第32回	平成21年度	石田 光男 富田 義典 三谷 直紀	『日本自動車企業の仕事・管理・労使関係―競争力を維持する組織原理―』 中央経済社 (2009年)	537.09/nih
第33回	平成22年度	小杉 礼子	『若者と初期キャリアー「非典型」からの出発のために―』 勁草書房 (2010年)	366.21/wak
第34回	平成23年度	太田 聡一	『若年者就業の経済学』 日本経済新聞出版社 (2010年)	366.21/jak
		三輪 卓己	『知識労働者のキャリア発達―キャリア志向・自律的学習・組織間移動―』 中央経済社 (2011年)	361.84/chi
第35回	平成24年度	櫻井 宏二郎	『市場の力と日本の労働経済―技術進歩、グローバル化と格差―』 東京大学 出版会 (2011年)	366/shi
		山川 隆一	『労働紛争処理法』 弘文堂 (2012年)	366.67/rod
第36回	平成25年度	富永 晃一	『比較対象者の視点からみた労働法上の差別禁止法理―妊娠差別を題材とし て―』 有斐閣 (2013年)	366.31/hik
		山内 麻理	『雇用システムの多様化と国際的収斂―グローバル化への変容プロセス―』 慶應義塾大学出版会 (2013年)	366.21/koy
第37回	平成26年度	下村 英雄	『成人キャリア発達とキャリアガイダンス』 労働政策研究・研修機構 (2013年)	C60.81/rod/2
		濱中 淳子	『検証・学歴の効用』 勁草書房 (2013年)	377/ken
第38回	平成27年度	周 燕飛	『母子世帯のワーク・ライフと経済的自立』 労働政策研究・研修機構 (2014年)	C60.81/rod/3
		山本 勲 黒田 祥子	『労働時間の経済分析―超高齢社会の働き方を展望する―』 日本経済新聞出 版社 (2014年)	366.32/rod
第39回	平成28年度	本庄 淳志	『労働市場における労働者派遣法の現代的役割』 弘文堂 (2016年)	366.14/rod
第40回	平成29年度	桑村 裕美子	『労働者保護法の基礎と構造―法規制の柔軟化を契機とした日独仏比較法研 究―』 有斐閣 (2017年)	366.14/rod
		首藤 若菜	『グローバル化のなかの労使関係―自動車産業の国際的再編への戦略―』 ミ ネルヴァ書房 (2017年)	366.5/gur
		鶴 光太郎	『人材覚醒経済』 日本経済新聞出版社 (2016年)	366.21/jin
第41回	平成30年度	神林 龍	『正規の世界・非正規の世界―現代日本労働経済学の基本問題―』 慶應義塾 大学出版会 (2017年)	366.21/sei
第42回	令和元年度	石井 香江	『電話交換手はなぜ「女の仕事」になったのか―技術とジェンダーの日独比 較社会史―』 ミネルヴァ書房 (2018年)	694.2/den
		脇坂 明	『女性労働に関する基礎的研究―女性の働き方が示す日本企業の現状と将来 ―』 日本評論社 (2018年)	366.38/jos